

【あいさつリレー】の展開

過程	児童の活動	主な発問と指示()や児童の反応・行動()	指導上の留意点
導入	1 リズム遊び	<p>今からリズム打ちをします。お隣の人が気持ちよくなるように肩をたたきながら、リズム打ちをします。(8拍, 8拍, 4拍, 4拍, 2拍, 2拍, 1拍, 1拍, <u>ボン</u>)</p> <p>次は、「どんぐりころころ」の歌に合わせてやりま</p>	<ul style="list-style-type: none"> 心と体をほぐす活動なので、楽しい雰囲気を作る。
インストラクション	2 本時の学習を知る	<p>1日を楽しく過ごすために、みんなの心をほかほかにする言葉を知っていますか?</p> <p>「あいさつをする」「あそぼうという」「ありがとうをいう」など</p> <p>今日はあいさつの仕方を勉強します。同じあいさつでも言い方によって言葉が違ってしまいますどんな言い方をするとよいでしょう? 元気よくする。顔を見て言う... など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1日を楽しく過ごすための問題意識をもたせる。
モデリング	3 教師の演技を見る	<p>では先生がやってみます。「おはようございます!」(元気よくはっきりと) 「おはようございます...」(うつむいて小さな声で)</p> <p>どちらのあいさつがよかったですか?</p> <p>元気な方, はっきり言った方...</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2つの例を分かりやすく使い分ける
	4 あいさつの練習をする	<p>では隣の人とあいさつをしてみましょう。「元気」「はっきりと」に気をつけて言いましょう。「さんおはよう!」とお友達の名前を読んであいさつしてみましょう。</p> <p>はい。すごくすてきな雰囲気になりましたよ。君や さんのあいさつがとても気持ちよく聞こえていました。もう一度やってもらいます。よく聞いていてください。【子どもの実演...終了後は拍手】</p> <p>よくできましたね。さて、どんなところが良かったでしょう? 気付いたことを発表してください。</p> <p>相手を見ていた。元気な声で言っていた。心を込めて言っていた...</p> <p>みんなたくさんいいところを見つけたね。このようなことに気をつけば、「気持ちのいいあいさつ」ができますね。では、今、気付いたことに気をつけながらもう一度、隣の人と「気持ちのいいあいさつ」をして見ましょう。</p> <p>教室の中が、ほかほかとてもいい雰囲気になってきましたね。先生はとても嬉しいです。みなさんはどうですか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 順番に、交代でさせる。ペアでの練習のときにうまくできている子を見つけておく。 うまくできていた数人の子どもたちに、行わせる。 子どもたちの意見を板書する。
リハーサル	5 あいさつリレーをする	<p>では、今からゲームをします。全員手をつないで輪になってください</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラスの実態を考慮し、「男女交互」「番号順に」「自由に」など、いずれかで輪を作らせる。

まず先生が隣の人にあいさつをします。「さんおはよう！」そうしたらあいさつをされた人は、先生にあいさつを返します。「先生おはようございます」その後、その隣の人にあいさつをしてください。するとあいさつが順に伝わって、一回りしてきますよ。では、いきます、さんおはよう！

とてもよくできました。今度は逆回りでいきますよ。でも1つだけ気をつけてください「気持ちのいいあいさつ」ってどんなあいさつだったかな？
「明るく元気に」「相手をよく見て」「気持ちを込めて」ですよね。じゃあやってみましょう。

みんな気持ちのいいあいさつができるようになってきましたね。今度はどうかな、少し難しいよ。よく見ていてね。くんおはよう！さんおはよう！～左右両方にあいさつする～

あいさつが教室いっぱいになって、どんなん気持ちですか。

1日を楽しむための「あいさつ」みんなはもうしっかり言えますよね。明日からいろいろな人にどんどんあいさつをしてみましょう。

他にもみんなの気持ちをほかほかにする言葉に気付いたら、先生やお友達に教えてください。

- 全員がルールを理解できたか、確認する。場合によっては、3～4番目くらいまでの様子を見せる。

- あいさつカードを作ったり、帰りの会などで今日何人にあいさつしたかを聞いたことにより、生活の中に定着させる。